

2025 年が始まりました。昨年 4 月から医療界でも働き方改革が進み、多くの医師が影響を受けました。医療の質を低下させることなく、また、学びたい・働きたい医師の意欲を削ぐことなく進んでいくことは大変なことと感じています。

今号では、永島先生の企画で、びまん性特発性骨増殖症（diffuse idiopathic skeletal hyperostosis：DISH）に対する治療の現状として、8 名のエキスパートから玉稿をいただきました。DISH について特集が最後に組まれたのは 2019 年（32 号）で、5 年半ぶりのことになります。DISH 症例では、想定外の状況や合併症を経験された読者先生もおられると思いますが、今号では特に手術に焦点が当てられており、DISH 症例に対する適切な治療を考えるうえで重要な知見が得られます。DISH の疫学と総論から骨折の特徴や問題点・重篤な合併損傷がわかりやすく示されています。また、骨折に対する手術法として、経皮的手術・側臥位手術・penetrating endplate screw などの比較的新しい技術と、逆に open 法へのこだわりが示されています。低侵襲手術全盛の今日であっても、サルベージ手術など open 法を選択せざるを得ないケースもあり、さまざまな選択肢・引き出しを術者がもっておかなくてはならないと思われました。最後に、DISH を有する例での腰椎手術成績が劣ること、そのメカニズム、および手術における工夫についてまとめられています。1 椎間の除圧であっても、DISH を意識して治療計画を立てることが重要であると再認識させられます。临床上、しばしば遭遇する DISH 症例に立ち向かうためにも、読者皆様に今号をご確認いただきたいと思います。

2025 年は、高度経済成長期を支えた「団塊の世代」800 万人が全員、後期高齢者になり、総人口の約 18% が後期高齢者となるという、超高齢社会が深化する 1 年になります。私たちも 1 年ずつ年をとり、階段をのぼり成熟していきます。心と体の若さを保ち、世の中の役に立ちながら、自分や周りの人を幸せにすることができるとうれしいですね。働き方改革もありますが、周りへの感謝・敬意を忘れずに、自分自身を少しずつ改革しながら前に進んでいく 1 年にしたいと思います。今号が読者皆様にとって、ためになること、および皆様がよい 1 年を過ごされますことを心からお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(安原隆雄)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

松山幸弘（編集委員長）
亀山 隆 黒川勝己 高橋敏行
高見俊宏 筑田博隆 永島英樹
中西一義 中村雅也 西田康太郎
原 政人 飛驒一利 堀 正明
安原隆雄

Vol. 38 No. 2
(2025 年 1 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価（本体 2,500 円＋税）

（配送料別）

年きめ予約購読料 33,300 円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：西本・山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2025,

Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。